アリ　サルマ ン ベノワ博士 フランス出身、元カトリック教徒

:

明:医学博士がキリスト教ではなく、イスラ ムを んだ理由とは。

目: 事新改宗者ムスリムの逸 男性

より: アリ　サルマ ン ベノワ

日07 Jan 2013

集日 07 Jan 2013

私は医学博士として、そしてフランス人のカトリック教徒の出身として、科学的バックグラウンドと共に育ち、神秘的人生というものとは程 い生活を送ってきました。私は神を信じなかったわけではありませんが、一般的なキリスト教の教 や 式、特にカトリック信仰のそれは、私に神の存在を感じさせてはくれませんでした。それゆえ、私の神に する感情は一 して、三位一体の教 、そしてイエス キリストの神格性を受け入れませんでした。

私はイスラ ムを知る前から、「ラ　イラ ハ イッラッラ （唯一神なるアッラ 以外に神はなし）」というカリマ（信仰 言）の前半、そしてクルア ンの以下の を信じていました。

“???”????? ?112:1?4?

このように、まず私は形而上的 面からイスラ ムを信奉していました。その他の理由もそうです。たとえば、神の代わりに人の罪を赦すことが出来ると主 するカトリック司祭を めたくはない、という私の拒否反 です。さらに、私はカトリックの 式である 体 をして受け入れることは出来ませんでした。それはイエス キリストの身体の 体であると信じられる 体（パン）を食べるもので、私にとってはそれが未 な人々によって 践されるト テム信仰に えました。それはタブ とされる先祖 来のト テムの身体を、その死 に食すことにより、その性格と同化するというものです。私をキリスト教から ざけたもう一つのポイントを げるとすれば、とりわけ礼 前の身体の 化に しての完全なる沈 でした。私にとってそれは、神への侮辱のように思えたのです。なぜなら、もし神が私たちに魂だけでなく、体をもお授けになったのであれば、それを いまま放置する 利は私たちにはないはずだからです。彼らに人 の生理学的な について言及すれば、沈 だけでなく 意を含んだ反 をされる一方、イスラ ムはこの点について、人 性と 和した唯一の宗教であると感じられました。

私がイスラ ムに改宗するに至った根本的かつ 定的な要素は、クルア ンの存在でしょう。私は改宗前、西洋特有の批判精神をもってそれを学びましたが、それが出来たのは、「Le Phenomene Coranique（クルア ン的事象）」と された、マ リク ブン ナビ 氏の著作のおかげです。私はそれによって、クルア ンが神による 示であると 信することが出来ました。13世 以上も前に 示されたクルア ンの中のいくつかの 々には、近代科学の研究者たちが するものと全く同じ概念が示されているのです。このことは かに私を 得させ、カリマの 半である「ムハンマド ラス ルッラ （ムハンマドはアッラ の使徒である」を信じることが出来ました。

以上が、私が1953年の2月20日に、パリのモスクでイスラ ムの信仰宣言を行い、パリ モスクのムフティ によってムスリムとして登 され、「アリ サルマ ン」いうムスリム名を与えられた所以です。

私は自分の新たな信仰にとても 足しています。そしてもう一度宣言しましょう。

「私は唯一なる神アッラ の他に神はなく、ムハンマドはアッラ のしもべであり、使徒であることを宣言します。」

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/1176

著作　2006-2015 断　を禁じます。　2006 - 2023　IslamReligion.com. 断　を禁じます。